



## 1 ねらい

渋沢栄一の業績について調べることを通して、日本は欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めてきたことが分かるようにする。

## 2 授業の流れ

### 1 導入・視聴前のポイント(10分)

- ・明治時代の産業がどのように変化していったのか、グラフや当時の写真などをもとに考えさせる。
- ・政府の政策の他にも、渋沢栄一、大原孫三郎、神谷傳兵衛など近代化に尽くした人々がいることを、写真史料などをもとに知らせる。

### 2 学習問題の提示

「渋沢栄一は、どのようにして日本の近代化を進めていったのだろう。」

### 3 番組視聴 ワークシート1(15分)

- ・「渋沢栄一が近代化に向けてどのようなことを行ったのか」という点に気を付けさせながら番組を視聴させ、近代化の取り組みやエピソードをワークシート1にメモさせる。

### 4 情報整理 ワークシート2(15分)

・ワークシート1のメモや「ドッキリ・ポイント」を手がかりにさせながら、渋沢栄一の業績について、ワークシート2に整理させる。

★渋沢栄一は経済を発展させるために、どのようなことを行ったのか。

★関東大震災からの復興のために、どのような活動を行ったのか。

★世界との友好を深めるために、どのような国際交流を行ったのか。

### 5 まとめ ワークシート3(5分)

- ・学習課題について、ワークシート3に自分の考えをまとめさせる。
- ・自分の考えを発表し考えを共有させる。

# ③ 評価のポイント

・ 渋沢栄一の業績に触れながら日本は欧米の文化を取り入れて近代化を進めてきたことを、ワークシート3にまとめている。(知識・理解…主にワークシート3)

## ワークシート例

しづ さわ えい いち  
**渋沢栄一** ~近代化に<sup>2</sup>尽くした人~

歴史に  
ドキリ  
ワークシート

くみ なまえ

### 学習課題

「渋沢栄一は、どのようにして日本の近代化を進めていったのだろう。」

1 渋沢栄一が行ったことについて分かったことをメモしよう。

明治時代の日本=外国に負けない国をつくる、経済を発展させる必要  
株式会社=みんなでお金を持ちより事業を行う  
パリ万博 フランスの町=豊かな暮らし フランスの繁栄=株式会社  
株主をつのり銀行をつくる=第一国立銀行  
紡績、海運業、鉄道など500の株式会社  
関東大震災: 臨時病院、避難所、孤児院 多くの人を助ける  
国際交流: 「青い目の人形」 日本とアメリカで人形を贈り合う=世界との友好  
1873年=第一国立銀行を設立

#### ドキリ・ポイント

- ① 銀行をはじめとする、多くの株式会社を作り、日本経済を発展させた。
- ② 関東大震災の復興や国際交流に貢献(こうけん)した。

2 渋沢栄一が日本の近代化を進めるために、どのようなことをしたのか整理しよう。

渋沢栄一の目指す世の中

**近代化 = 世界と渡り合える日本**

#### 経済について

日本経済の発展

株式会社の設立  
第一国立銀行  
紡績・海運業・鉄道  
ホテル・製紙・保険  
ガス・郵船 など

500にのぼる株式会社

#### 震災について

関東大震災からの復興

臨時病院  
避難所  
孤児院

逆境のときは断固  
として行動を起こす

#### 外国との関係について

国際交流

「青い目の人形」  
日本とアメリカで人形を贈り合う

民間レベルの交流  
=世界との友好を深める

3 渋沢栄一は、どのようにして日本の近代化を進めていったのだろう。自分の考えをまとめよう。

渋沢栄一は、フランスを手本に日本で株式会社を設立した。  
第一国立銀行をはじめ、紡績や海運業、鉄道など多くの株式会社をつくり、日本の経済を発展させた。また、関東大震災では、臨時病院や避難所の設置などを行い、多くの人を助け活やくした。さらに、日本とアメリカとが互いの人形を贈り合う交流を通して、日本と世界との友好を深める活動を行った。  
このような渋沢栄一の取り組み(業績)が、日本の近代化へつなげたと考える。  
また、世界に日本の力を認めさせるひとつのきっかけになったと考える。

